

宮城県高齢者人口調査の結果について

1 調査の目的

この調査は、県が策定している「宮城県高齢者福祉計画」等、各種施策推進の基礎数値として活用するため、県における高齢者人口の動向等を把握するものである。

2 調査の主体 宮城県

3 調査の方法 各市町村の住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計

4 調査時点 令和 7 年 3 月 31 日現在

5 調査結果の概要

(1) 高齢者人口（65歳以上）の状況……………表 1

高齢者人口は658,415人となっており、総人口が0.7%減少したのに対し、高齢者人口は0.1%増加している。

(2) 高齢化率（総人口に対する65歳以上の割合）の状況……………表 2－1

高齢化率は29.7%で前年と比較して0.2ポイント上昇している。

【参考】全国の高齢化率は29.3%（令和 6 年 10 月 1 日現在）

① 広域圏別高齢化率の状況……………表 2－2

高齢化率が一番高いのは栗原圏域(43.2%)で、次いで気仙沼・本吉圏域(41.2%)、登米圏域(38.3%)、仙南圏域(36.4%)、大崎圏域(34.9%)、石巻圏域(34.7%)、仙台圏域(26.4%)となっている。

② 市町村別高齢化率の状況……………表 2－3

高齢化率が一番高い市町村は丸森町(45.2%)、次いで七ヶ宿町(45.0%)、栗原市(43.2%)、山元町(42.3%)、川崎町(41.4%)の順で、県内7割以上の27市町村が30%を超えている。

一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷市(23.0%)で、次いで大和町(24.1%)、名取市(24.5%)、仙台市(25.4%)、多賀城市(26.1%)の順となっている。

(3) 在宅のひとり暮らし高齢者（65歳以上）の状況……………表 3

在宅ひとり暮らし高齢者数は162,502人で、65歳以上の高齢者人口に占める割合は24.7%となっている。